

## 第56回定期懇談会の報告

柑芦会事務局 穂永

6月4日10:30~11:50 和歌山大学経済学部5階の第1会議室に於いて  
経済学部・柑芦会の定期懇談会が開催されました。

大学の今後についての情報など、意見交換が行われました。

### 1. 出席者

(経済学部)

足立基浩 経済学部長

上村正博 学長補佐(同窓会・後援会基金担当)

荒井信幸 副学長 教育研究支援委員長)

金澤孝彰 経済研究支所長・学科長

阿部秀二郎 経済学科長(教務委員長)

上野美咲 特任助教(地域国際連携オフィススタッフ)

岡野辰巳 経済学部サポート室長

(柑芦会・財団理事)

青柳明雄 会長

久山稔 和歌山支部長

北村修一 大阪支部幹事長

辻 均 神戸支部幹事長

穂永千秋 本部事務局長

2. 柑芦会より5月28日に開かれた定時理事会・評議委員会での研究助成金の27年度決算及び28年度助成予算の承認について報告、足立学部長より財団からの今年度の助成項目の増額について謝意の表明があった。  
お金の使い方については、ここぞと思う場合にどっと思えるようにすることも選択肢の一つとして必要との意見もでた。

### 3. 大学の近況

経済学部での学部・学科の改組・・・学生の意識変化

将来行きたい方向と受けたい授業のギャップ。修正も可能に  
アグリビジネスへの取り組み 地域連携と海外戦略につなげる試み  
グローバル化への取り組み 学生の TOEIC 受験必須に

### 4. 卒業生の就職状況・就活状況

今年6月1日時点ですでに5割の内定

### 5. その他

経済学部では、インターンシップでの授業の公休は認めていない。

インターンシップ先での交渉技術も勉強の内。

(和太にはスポーツ入学制はないので、体育会系の対外試合で公休が認められない問題は、OBには寂しい気もしないわけではない。)

以上

☆ 研究助成に関しては、柑芦会の大先輩から、最近の和歌山大学の先生の「顔が見えなくなっている」との指摘もあり、そうした不満の解消のためにも、今回、助成金の増額と適応幅を拡大したのを機に、その成果が見えるようにする必要があります。

柑芦会・財団としてはその成果についても広く会員に知らしめることが、寄付金の有効活用を理解し、大学基金への意欲を高めると考え、助成を受けた先生方に積極的に柑芦会活動に参加してほしい旨要請。

足立学部長からも、先生方には恩返しの意味でも会合に出て成果を発表するよう申し伝える旨回答いただきました。

東京、大阪での「人生塾」、神戸支部の「ぶらくり会」での講師をお願いする。その他定期的にセミナーを開催している三重・東海支部、和歌山、姫路、岡山、香川、徳島各支部にも、近隣支部との合同の勉強会を計画し先生方に講師として来ていただけるよう取り組んでほしいとの会長の提案を各支部にお伝えします。

以上